

2018年3月12日

報道関係各位

株式会社キュラディムファーマ

S1P 受容体調節薬「CP1050」の第 I 相臨床試験開始のお知らせ

株式会社キュラディムファーマ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：内ヶ崎哲、以下「当社」）は、スフィンゴシン1-リン酸（S1P）受容体調節薬（開発コード：CP1050）について、第 I 相臨床試験を英国で開始しましたので、お知らせいたします。

CP1050 は、当社が 2016 年 7 月に Meiji Seika ファルマ株式会社から導入した化合物（同社における化合物番号：CP9531）で、多発性硬化症をはじめとする自己免疫疾患の治療薬として開発を進めています。導入後、原薬形態の決定から治験薬製造まで行うとともに、必要な非臨床試験および英国当局への治験申請を実施し、このたび、第 I 相臨床試験を開始することができました。本試験は、健常人を対象に CP1050 の安全性および忍容性の確認を目的として行われ、本年中に結果が得られる予定です。

多発性硬化症は、原因不明の自己免疫疾患です。脳や脊髄などの中枢神経を保護している髄鞘（ずいしょう）が破壊され、神経伝達に障害を来す病気で、厚生労働省の指定難病です。患者さんは、長期にわたる治療が必要になりますが、既存薬には副作用の課題が残ります。当社が行った非臨床試験において、CP1050 は既存薬と同等の有効性を維持しながら、既存薬よりも高い安全性が示されており、患者さんがより安心して使用できる治療薬となることが期待されます。

当社は、日本に眠っている有望な創薬シーズを発掘し、非臨床試験から早期臨床開発までを専門的に行うパイプライン型創薬ベンチャーです。近年、日本企業の多くが、早い開発ステージにある自社シーズよりも、開発ステージが進んだ海外シーズを導入しており、有望な日本発シーズが実用化されにくくなっています。当社は、この役割を果たすことで、日本発の画期的新薬を開発し、アンメットメディカルニーズの高い疾患の治療に貢献することを目指しています。

株式会社キュラディムファーマについて

- ・ 設立 2016 年 6 月 29 日
- ・ 事業内容 医薬品の研究開発
- ・ 本社所在地 東京都千代田区
- ・ 代表取締役社長 内ヶ崎 哲
- ・ URL <http://curadim.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 キュラディムファーマ 経営管理部 横山
東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティグランキューブ 3 階
電 話：03-4243-8654（代表）